

小浜市企業誘致戦略(案)に関するパブリックコメントの結果

○意見の募集期間 令和6年10月11日～令和6年10月31日

○意見数 提出者2名(提出意見のべ 22 件)

【提出された意見の概要および市の考え方】

番号	意見(原文のまま)	意見に対する市の考え方
1-1	<p>鳴り物入りで誘致した日本電産(現Nidec)が小浜から事実上撤退しています。工場はがらんとしてとても稼働している雰囲気はありません。日本電産の誘致には用地造成も含めて相当の市税が投入されています。この誘致ははっきりいって失敗です。失敗の教訓が総括されていません。戦略案には何が問題で、今後にかさねべき教訓は何か。明確にする必要があると思います。</p> <p>◇私が日本電産の社員の方にお聞きした情報では、大卒の研究職の方が「小浜には行きたくない」といって小浜工場に行きたがらないので研究部門を閉鎖することになった。ということでした。</p>	<p>企業誘致後にも企業が小浜市で事業を継続できるよう市もサポートを続けることが重要と考えます。ご意見を踏まえ「第4章 企業誘致の方向性」の「4. 取組方針」の「④誘致活動の強化」に、「また、誘致した企業が継続的に小浜市で事業を継続できるよう、サポートを図ります」の文言を加えました。</p> <p>小浜で働くことの魅力をこれまで以上に発信するなど、企業誘致に取り組んでまいります。</p>
1-2	<p>平野区に企業誘致の用地を造成するとのことですが、企業誘致の造成と誘致活動は全国の県でも具体化してすすめています。福井だけではありません。</p> <p>◆平野区への誘致は何を売り物にするのでしょうか。熊本の菊陽町に1兆円規模の半導体工場の誘致が決まり、すでに一部で稼働しています。北海道の千歳には政府も力を入れ5兆円規模の半導体工場が計画されています。どちらの決め手となったのは豊富な地下でした。</p> <p>◆日本海側は雪国というハンディもあります。小浜を選んでも</p>	<p>県営産業団地の整備については、高速インターチェンジ等交通の要所に近接した場所であること、1区画で10ha以上の分譲面積が見込めることなどを条件に本市の平野地係が選定されました。本市の企業誘致戦略では、企業立地上の強みを6項目記載し、さらには広域ネットワークの整備を今後の可能性として整理するとともに誘致方針として、「小浜市企業誘致重点エリア」を設定し、県営産業団地は「小浜の先端産業誘致エリア」として位置付け、成長産業や基盤産業、研究機関などの誘致を進めることとしています。</p>

	らうためには、それなりの魅力の発信、売り込みの旗印が必要 と思います。(電気代が安いだけでは不足です。)	
1-3	◇企業でも人でも小浜にきてもらうには、小浜を魅力ある町、 元気な町にすることが必要です。そのため誘致は市長の仕事、 市役所の仕事とするだけでなく市民全体が「ウェルカムなまち づくり」へ市民が一つになる運動と工夫が必要と思います。 ◇日本電産の場合でもよそ者あつかいでなく、地域のまつり やイベントに積極的にお誘いして地域の一員として迎えていれ ば、また違った方向にむかったかもしれません。	実際の誘致については、対象となる地区や区、関係者などと協 議しながら進めてまいります。
1-4	☆戦略案の原案は政府系のコンサルがつくられたのではと想 像しますが、小浜の弱点への踏み込みが足りないと思います。 なぜ竜前の用地への誘致に30年近くもかかっているのか踏 み込んでいません。さらりと後1区画だけと現状だけ記され ているだけです。どうして長年にわたって塩漬け状態であったの か分析がありません。何を克服すべきか明確にする必要性を 感じました。	竜前企業団地については、各種誘致活動や企業からの照会な どにより売却を進めてまいりました。 今後の企業誘致につきましては本戦略を基に、県や関係者と 連携を強化し積極的な誘致活動に努めてまいります。
2-1	1 小浜市の産業現状 (2)労働力 ②有効求人倍率等 P.17 「福井県の労働力関連指標【有効求人倍率】(令和6年3月) の出典が、「福井県労働局市場月報」となっていますが「福井労 働局市場月報」の間違いではないでしょうか。	ご指摘を踏まえ「福井労働局市場月報」に訂正しました。
2-2	1 小浜市の産業現状 (2)労働力 ③Uターン率 P.18 「それ以外の年では概ね100人前後の移動が見られます。」と なっていますが、分かりやすくするため「それ以外の年では概 ね100人前後の転出超過が見られます。」と表現することを 提案します。	ご意見を踏まえ、「それ以外の年では概ね100名前後の転出 超過が見られます。」に整理しました。
2-3	1 小浜市の産業現状 (2)労働力 ⑤将来つきたいと思う職	ご意見を踏まえ、「本市の生産年齢人口が減少する中、進学希

	<p>業 P.20  「本市の生産年齢人口が減少する中、…(省略)…企業の魅力等をPRし地元職率向上につなげる<u>必要があります。</u>」と課題を示していますが、この段落に続き本市で既に取り組んでいる施策を記述していることから、課題を示す表現ではなく施策の現状について概要を示す表現とすることを提案します。例えば「本市の生産年齢人口が減少する中、進学希望者に対するUターン施策や、将来の就業先が決まっていない学生に対し、企業の魅力等をPRし地元職率向上につなげる<u>施策に取り組んでいます。</u>」としたほうが、「<u>小浜市の産業現状</u>」にふさわしい表現であると思います。</p> <p>なお、この課題については、さらなる取り組みが必要であると考えられることから、『3 小浜市の企業立地上の課題 P.26』の中に、課題についての記述を追加することを提案します。(後述(4)2段落目)</p>	<p>望者に対するUターン施策や、将来の就業先が決まっていない学生に対し、企業の魅力等をPRし地元職率向上につなげる施策に取り組んでいます。」に整理しました。</p>
2-4	<p>3 小浜市の企業立地上の課題 (1)雇用の確保 P. 26  表題を「(1)雇用の確保」としていますが、企業を誘致するための戦略であるならば、立地する企業の観点からみた課題を検討すべきであると考えます。立地する企業の観点からいうとP.7に記述のあるとおり「人材・労働力の確保」であると思います。よって、表題を「(1)人材・労働力の確保」と改め、市内企業の現状における雇用の確保についての課題を記述するのではなく、立地する(進出してくる)企業の観点からみた「人材・労働力の確保」についての課題を記述した内容に改めることを提案します。</p> <p>考えられる「人材・労働力の確保」の課題としては、立地する企業が必要とする労働者数の確保が現状としてできるのか、高校、大学等の卒業生の地元就職率が低いと思われるが、将来</p>	<p>企業立地ニーズ調査実施企業を含め、様々な企業をヒアリングする中で、多くの企業が使われていた表現が「雇用の確保」であったため、戦略では「雇用の確保」という表現を用いております。</p>

	<p>的に見て労働者の確保ができるのか、等々あると思いますので、ご検討いただきたいと思います。</p>	
2-5	<p>3 小浜市の企業立地上の課題 (3)上下水道インフラ整備 P. 27</p> <p>ここの記述を見ると「上下水道経営への影響」や「地下水…(省略)…枯渇の懸念」といった後ろ向きなものばかりである。企業を誘致するための戦略であるならば、現状の資源を活用するとともに、不足するものがあれば新規の事業を起こしてインフラ整備を進めて、企業の誘致に結び付ける積極的な姿勢を示すことが必要であり、積極的な企業誘致に向け、どういったことが課題となるかといった内容に改められることを提案します。</p>	<p>必要となるインフラ整備につきましては、具体的な案件の中で協議・検討してまいります。</p>
2-6	<p>3 小浜市の企業立地上の課題 (5)生活・居住面の弱み P. 27</p> <p>ここの記述に『「希望する職種、スキルを活かせる仕事の不足」などの回答があり、移住・定住を検討する方が求める企業が少ないことが、人手不足につながっていることが推測されます。』とありますが、仕事がなくして移住・定住が起きてないのですから、「希望する職種、スキルを活かせる仕事の不足」による人手不足は発生していないはずです。よって、この部分は削除して、ここの記述は、『「北陸新幹線全線開業を活かした小浜市まちづくり構想」のアンケート調査等から整理をした…(省略)…「公共交通の利便性の低さ」、「医療面等、日常生活の不安」などの回答があり、これらのことが、人手不足につながっていることが推測されます。』とされることを提案します。</p>	<p>ご意見を踏まえ、『…「医療面等、日常生活の不安」の他、「希望する職種、スキルを活かせる仕事の不足」などの回答があり、今後、まちの魅力を高め、移住・定住者の獲得に取り組むことで、企業の人手不足へ対応していく必要があります。』に整理しました。</p>
2-7	<p>4 今後の可能性 (1)広域ネットワークの整備 P.28</p> <p>4 段落目の文章が分かりづらいと思います。以下のように修正されることを提案します。「市内には、2 か所のインターチェ</p>	<p>ご意見を踏まえ、「市内には、2 か所のインターチェンジを有する舞鶴若狭自動車道、国道 27 号線、若狭西街道の 3 つの幹線ルートが東西に延びています。これらに加え、今後の北陸新</p>

	<p>ンジがある舞鶴若狭自動車、国道 27 号、若狭西街道の 3 つの幹線ルートが東西に延びています。今後は、本市にも新駅ができる北陸新幹線の全線開業が見込まれるとともに、舞鶴若狭自動車道の 4 車線化事業も着手されており、広域的な迂回ルートの確保を目的とする、広域ネットワークの整備が進むことをチャンスとして捉える必要があります。</p>	<p>幹線全線開業および舞鶴若狭自動車道 4 車線化により、交通利便性の向上や広域的な迂回ルートの確保が見込まれることから、広域ネットワークの整備が進むことを企業誘致のチャンスとして捉える必要があります。」に整理しました。</p>
2-8	<p>1 戦略の位置づけ (4)小浜市都市計画マスタープラン P.32 2 段落目、「小浜新港<u>一体</u>」となっていますが「小浜新港<u>一帯</u>」の間違いではないでしょうか。</p>	<p>ご指摘を踏まえ「小浜新港一帯」に訂正しました。</p>
2-9	<p>1 戦略の位置づけ (4)小浜市都市計画マスタープラン P.33 3 段落目ですが、これは「福井県都市計画区域マスタープラン」についての記述と思われます。よって、新たに項目建てして、「(5)福井県都市計画区域マスタープラン」と表題を付けられることを提案します。 なお、これに伴い「食のまちづくり計画」以降の附番を修正されることも提案します。</p>	<p>(4)小浜市都市計画マスタープランの説明の中での福井県の参考として紹介させていただいております。</p>
2-10	<p>1 戦略の位置づけ (5)食のまちづくり計画 P.33 1 段落目、「市民および地域全体の「<u>ウエルビーイング</u>」」となっていますが「<u>ウエルビーイング</u>」の間違いではないでしょうか。</p>	<p>ご指摘を踏まえ「ウエルビーイング」に訂正しました。</p>
2-11	<p>1 戦略の位置づけ (6)御食国若狭おばま観光まちづくり戦略 P.34 3 段落目、「小浜を訪れる観光客の…(省略)…および滞在時間の拡大を目指していきます。」となっていますが、関連する計画としての「御食国若狭おばま観光まちづくり戦略」の説明をしているのであれば、「小浜を訪れる観光客の…(省略)…および滞在時間の拡大を目指していくとしています。」ではないで</p>	<p>ご意見を踏まえ、「小浜を訪れる観光客の長期滞在に資する宿泊施設の高付加価値化改修等を行う事で、観光消費額の増加および滞在時間の拡大を目指としています。」に整理しました。</p>

	しょうか。	
2-12	<p>2 小浜市企業立地の需要状況 P.39</p> <p>2 段落目、「立地の際に重視する条件としては、「交通・輸送条件、交通アクセス環境」、「用地取得のしやすさ(大規模区画の確保・分譲価格等)」、「人材の確保(事務員・作業員、専門的人材等)」の項目で、「重視する」と回答した企業が過半数を超えていました。」となっていることから、企業が本市に進出を考える際に不安、心配なことがこれらの項目であり、これらの項目について安心させるように誘致戦略を練らなければならないと考えます。そういった観点からみて、今回の戦略が立地を考える企業に向けて安心感を与えるものになっているのか、戦略の最終決定にあたって、再確認をしていただきたいと思えます。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、具体的な案件の中で協議・検討してまいります。</p>
2-13	<p>2 小浜市企業立地の需要状況 P.39</p> <p>4 段落目、「小浜市への立地可能性に関する質問では、…(省略)…「条件次第で候補地となる」と回答した企業も存在しました。」となっていることから、ここで問われている「条件」を満たすことが企業の立地に繋がると考えられます。そこで、この「条件」が何なのかを明らかにして、今回の戦略の中で対策や取り組みを行っていく必要があると考えます。「条件」を明らかにして、26 ページからの「3 小浜市の企業立地上の課題」の中で整理するとともに、「小浜市の企業立地上の課題に対する対応策」(下記の(9)参照)や「4 取組方針」の中でその条件に対する対応策や取り組みを明らかにしていただくことを提案します。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、具体的な案件の中で協議・検討してまいります。</p>
2-14	<p>3 誘致戦略で目指す姿 (2)地域産業の活性化を担う人材の確保 P.44</p> <p>「図表 4-14 小浜市の人口減少対策について」では、人口減</p>	<p>ご意見を踏まえ、赤枠で囲みました。</p>

	<p>少対策に必要な取り組みとして 5 項目目の「企業誘致・雇用の創出」の項目を赤の塗りつぶしで強調？されていますが、濃い赤で塗りつぶされているので、プリントアウトすると項目の内容が読めなくなっています。着色を薄くするか、赤枠で囲むように直すか修正されることを提案します。</p>	
2-15	<p>3 誘致戦略で目指す姿 (2)地域産業の活性化を担う人材の確保 P.45</p> <p>45 ページには「図表 4-15 年齢階級別純移動数の時系列分布」が示されており、前の 44 ページには、「小浜市の年齢階級別の移動数を見ると…」との記述がありますが、この図表 4-15 は、小浜市の年齢階級別純移動数の時系列分布ですか。明記されることを提案します。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「小浜市の年齢階級別の移動数を見ると…」を「小浜市の年齢階級別純移動数の時系列分析によると…」に整理しました。</p>
2-16	<p>4 取組方針 P.47</p> <p>「目指す姿に向けて、企業誘致の取組方針として以下の通りとします。」とありますが、「目指す姿」だけでなく「第3章の3 小浜市の企業立地上の課題」で整理した課題に対する対応策を踏まえたものにする必要があると思います。原案では、小浜市の企業立地上の課題をクリアーできる戦略になっているのかが不明瞭であるように思います。小浜市の企業立地上の課題一つ一つについての対策の方針を示すために、第3章または第4章に「小浜市の企業立地上の課題に対する対応策」を追加で示していただくことを提案します。</p>	<p>企業立地上の課題に対する対応については、「第4章 企業誘致の方向性 4. 取組方針 (8)具体的な取組み」の中で企業立地上の課題への対応について記載しています。また、具体的な案件の中で協議・検討してまいります。</p>
2-17	<p>4 取組方針 (8)具体的な取組み ③雇用の確保 P.50</p> <p>前述の1. (4)と同様の提案ですが、表題を「③雇用の確保」としていますが、企業を誘致するための戦略であるならば、立地する企業の観点からみた課題に対する取組方針を検討すべきであると考えます。立地する企業の観点からいうと P.7 に記述のあるとおり「人材・労働力の確保」であると思います。よ</p>	<p>企業立地ニーズ調査実施企業を含め、様々な企業をヒアリングするなかで、多くの企業が使われていた表現が「雇用の確保」であったため、戦略では「雇用の確保」という表現を用いております。</p>

	<p>って、表題を「③人材・労働力の確保」と改め、市内企業の現状における雇用の確保についての取組方針を記述した1段落目は削除して、立地する(進出してくる)企業に対して、どのようにして「人材・労働力の確保」を行っていくのか、についての取組方針を記述した内容に改めることを提案します。</p>	
2-18	<p>4 取組方針 (8)具体的な取組み ③雇用の確保 P.50  上記(10)の人材・労働力の確保についての取組みとしては次のようなことも、ご検討いただくことを提案します。</p> <p>1)県外に進学した大学生等のUターン就職を増やすための取組み  例えば、県外に進学した大学生等が、将来の進出予定も含めた本市に立地する企業の情報を得やすくするため、プッシュ型で情報提供するとか、県外に進学した大学生等を対象とした市内立地企業の見学会の機会を毎年開催するとか、Uターン就職を増やすための取組みを検討していただきたいと思います。</p> <p>2)進出企業の求める労働力を確保するための取組み  本市だけでは、人口も少なく進出企業の求める労働力を確保できないと思われるので、例えば、滋賀県や京都府も含めた近隣の市町からの労働者を雇った場合、企業に助成金を出すとか、進出企業の求める労働力を確保するための取組みを検討していただきたいと思います。</p>	<p>いただいたご意見については、今後庁内で検討させていただきます。</p>